

わくわくミーティング（認知症本人ミーティング）

# わくわくわく通信



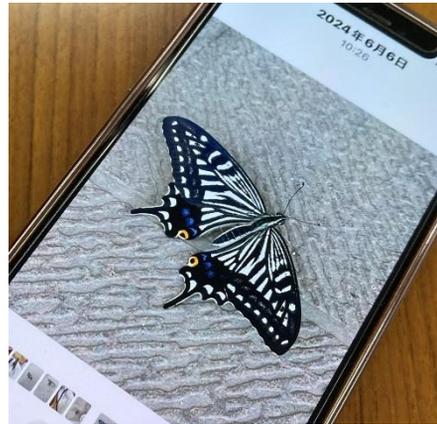
2025.5  
発行

## わくわく通信とは？

★認知症と診断された本人同士が主となり、自らの体験や希望、必要とすることをおしゃべりする場であるわくわくミーティング（認知症本人ミーティング）の様子を紹介する通信です。  
★「わくわくミーティング」という名前は、気持ちわくわく月することを一緒に考えようと、参加者の皆さんと命名しました。

## 日々の楽しみは、「みどりちゃん」の成長

2月18日と3月25日に文化会館で開催。2月18日には、参加者の方とご家族と植物や生き物の話で盛り上がりました。  
参加者の方のご自宅では、2、3年前から、ベランダにアゲハチヨウが来て、植木に卵を産むよ



▲たくさん産まれるため、みどりちゃん1号、2号…と名付けられています

うになり、それ以来、青虫に「みどりちゃん」と名前を付けて、ご夫婦で成長を見守っているそうです。

1か月ほどで成虫になると、蝶がベランダに少し留まってから飛び立っていくそうで、その様子を「お礼参りをしてくんですよ」と笑顔で話す姿にみどりちゃんへの愛情を感じました。

## いつもの散歩ルートを紹介していただきました

3月25日には、参加者の方とともに、文化会館に併設されている和の文化施設「漸草庵」百代の過客の見学とまつばら綾



▲ハナモモの木の前で



▲いつも隣を歩いてしたが、今回初めて漸草庵を見学したそう

瀬川公園を散策しました。漸草庵では、伝統的な数寄屋造りという技法でつくられた建物の説明などを受け、散策では、参加者のご家族が、普段の散歩の中で見つけた、1本の木に紅色と白色の花をつけるハナモモの木を教えてください。おしゃべりを楽みました。

2・3月は、参加者の方とご家族の皆様は、普段の様子や日常の楽しみを伺うことができました。  
皆さんのお話を伺い、植物や生き物の成長を楽しむ、思いを引き継いでいけることは、とても素敵なことだなと感じました。わくわくミーティングも参加者の方とご家族の皆様とともに、育んでいけたらと思います。

令和7年度も  
わくわくする  
ことをみんなで  
探していま  
しょう♪

